

科学技術イノベーション総合戦略2015： . クリーンで経済的なエネルギーシステム の実現

## ii) 地球環境情報プラットフォームの構築

- 気候変動による自然災害の増加や水資源、食料生産等への悪影響が危惧されている。その影響を低減するため、温室効果ガスの排出量削減による気候変動の緩和が求められている。
- 大気・海域・陸域に対する衛星・海洋・地上からの観測データを用いた気候変動のモデル化・シミュレーションによる予測技術を高度化し、それらの情報を統合したプラットフォームを構築することにより、再生可能エネルギーの導入と利用を進める。

### システム化概要

衛星搭載センサーの性能向上【総・文・環】  
海洋・極域の観測技術の高度化【文】



メタデータ利用とデータベース設計最適化  
データアクセスの速度向上【総・文】



地球環境の予測モデルとシミュレーション技術の高度化【総・国・文・環】

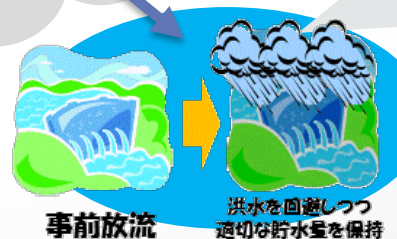


## 地球環境情報プラットフォーム

日照・風況予測に基づく太陽光・風力発電量予測技術のモデル地域における実証や気候変動対策への支援【文・環】



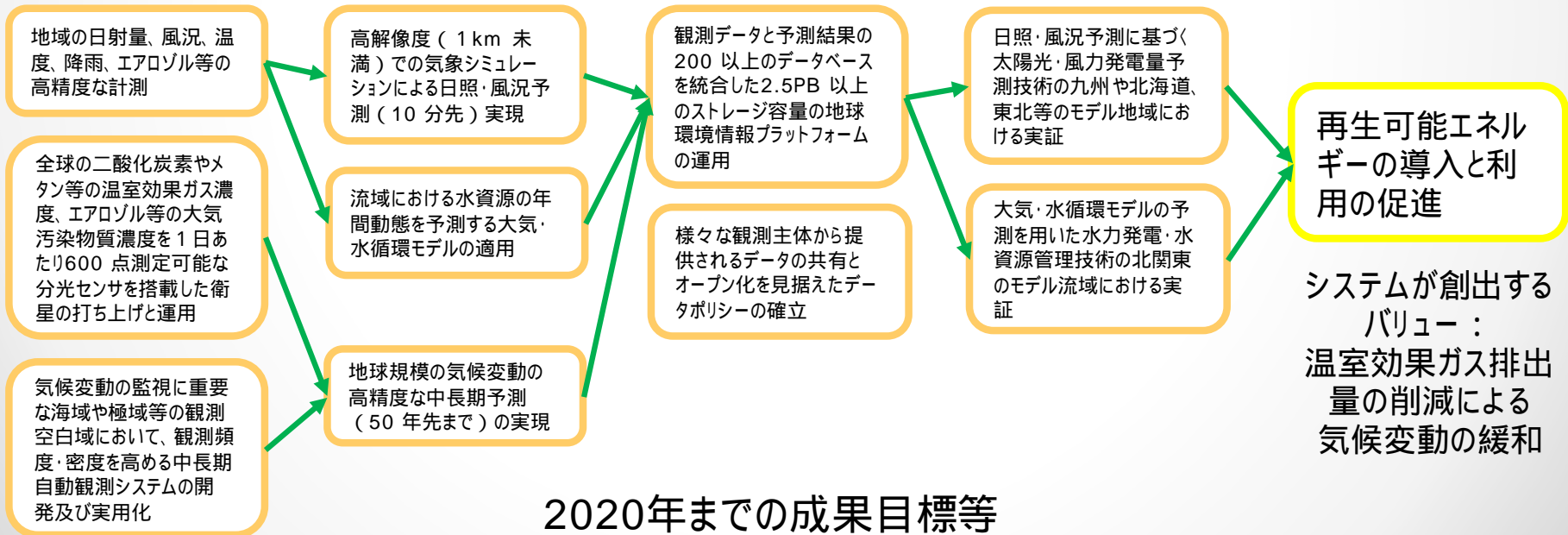
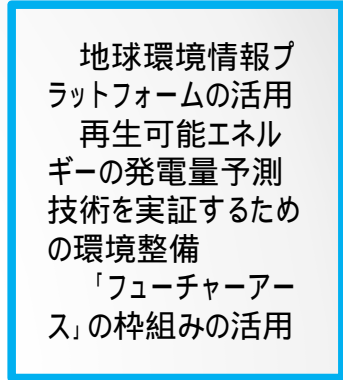
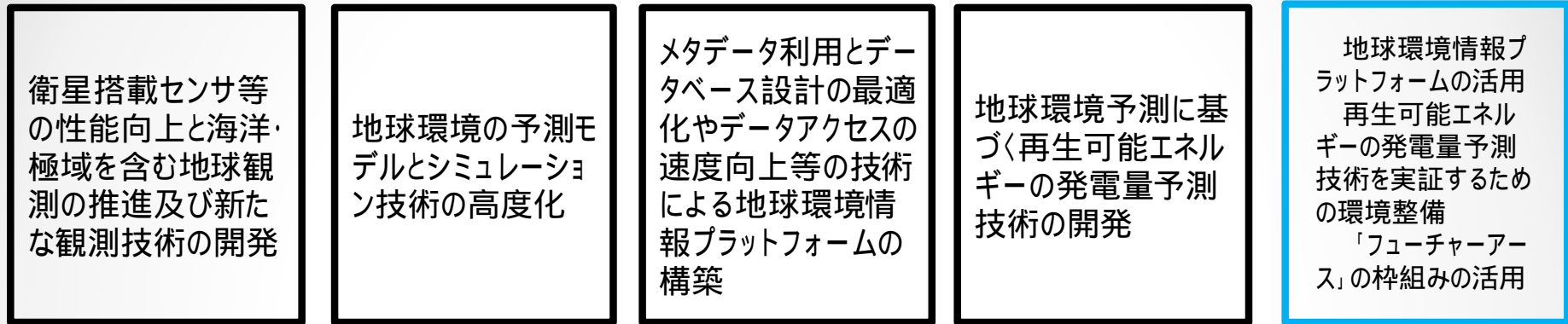
大気・水循環モデルの予測を用いた水力発電・水資源管理技術のモデル流域における実証【文】



# 「地球環境情報プラットフォームの構築」の重点的取組

## 地球環境観測・予測技術を統合した情報プラットフォームの構築 取組の内容

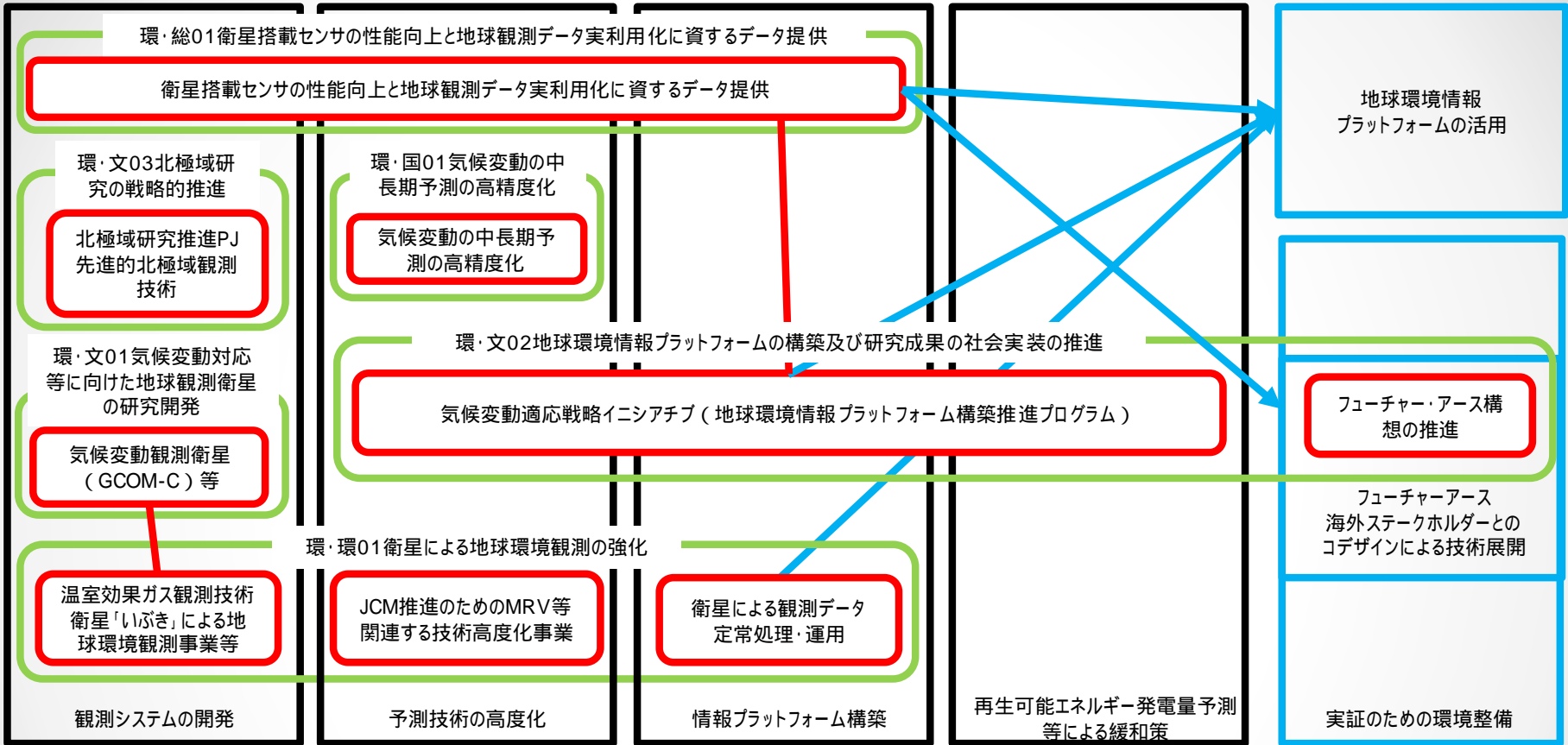
## 社会実装に向けた 主な取組



— 施策連携

重点的取組

社会実装に向けた取り組み



H28APについて、環境WG第8回で、省庁の説明に対して構成員の助言をいただく。事務局でとりまとめた助言を、環境WG第9回で確認し、重要課題専門調査会(3/7)に報告する。確認・報告した助言に対して省庁がH28AP個票を修正し、重要課題専門調査会(4/11)に提出する。